ニチコン株式会社殿

報告日　　年　月　日

業務用用途　蓄電システム　設置完了報告書

【お客様情報】

フリガナ	様	ご連絡先	固定・携帯
お客様名	様		固定・携帯
設置場所	〒　都・道　市・区 府・県　町・村・郡		
備考			

【製品情報】

製品型式	蓄電システム　ESS-U2M1	製造番号	
製品型式	室内リモコン　ESS-R3	製造番号	

【別売品製品情報　（オプション品）】 ※別売品の設置有り案件の場合記入

製品型式		製造番号	
製品型式		製造番号	

【販売会社情報】

フリガナ		ご連絡先	固定・携帯
会社名			FAX
住所	〒　都・道　市・区 府・県　町・村・郡		
ご担当者様			

【施工会社情報】

上記案件に付、次ページ以降に記載したとおり、工事説明書に準拠し設置工事、
点検を行い、異常なく完了いたしました。

フリガナ		ご連絡先	固定・携帯
会社名			FAX
住所	〒　都・道　市・区 府・県　町・村・郡		
ご担当者様	印	ニチコン 施工ID	

点検・検査 結果	良　・　否	工事 完了日	20　年　月　日

※本設置完了報告に記載のお客様、製品、販売会社情報は今後の顧客対応等に使用しますので、
楷書で正確にご記入ください。

【送付先】 ニチコン株式会社　電源センター　蓄電システムサービス部
〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町14番9号

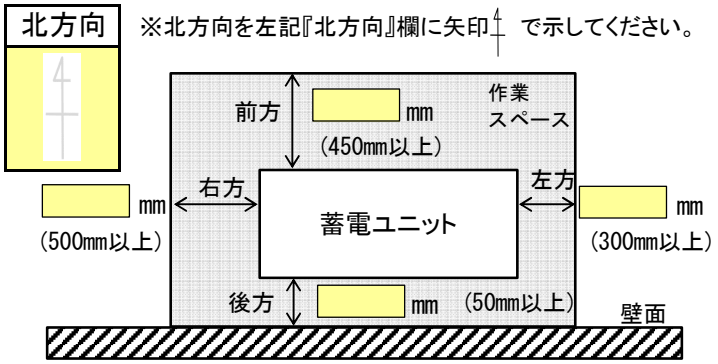
【弊社記入欄】

営業受付日		ｻｰﾋﾞｽ処理日		管理No.	

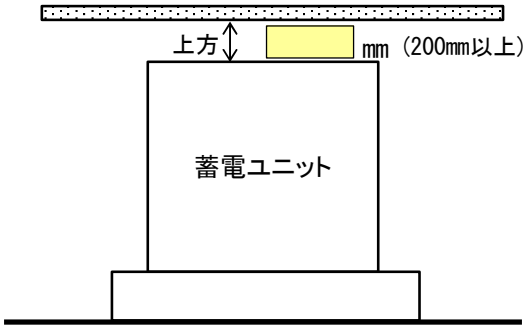
1. 蓄電ユニットの設置環境、製造番号確認

設置場所

蓄電ユニットの前方/後方/左方/右方/上方のスペースを記入してください。



上面図



正面図

蓄電ユニット設置環境写真

機種銘板の写真(製造番号が読み取れる写真)

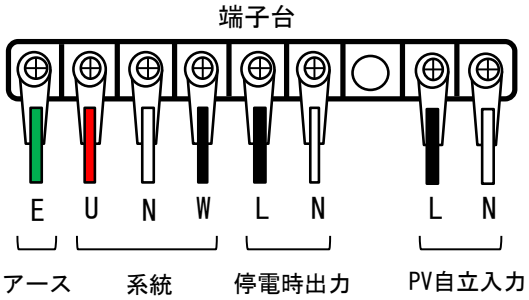
【本体（ユニット）】　　【リモコン】

2. 併設機器の設置状況確認

確認項目	確認内容		チェック
1. 太陽光発電の有無	有（　　台）・ 無		
2. 太陽光発電パワコンの型式及び適合機種であることの確認 （1. で「有」の場合のみ記入）	メーカー：	型式：	
	定格出力：　kW	ニチコン指定の適合機種であること	
	メーカー：	型式：	
	定格出力：　kW	ニチコン指定の適合機種であること	
3. エコキュートの有無	有（メーカー：　型式：　）・ 無		
4. エネファーム、エコウィルの有無	有（メーカー：　型式：　）・ 無		
5. 上記以外の併設機器（風力発電など）	上記以外の併設機器がありましたら、種類/型式を記入してください。		

3. 蓄電ユニットの電源投入前確認

	確認項目	確認内容	チェック
1	DCブレーカ確認	メンテナンス部のDCブレーカが「OFF」になっている	
2	外観確認	傷やへこみ、汚れ、腐食、破損はない	
3	周辺確認	周りにガス、引火物はない	
4	据付け確認	据付け穴4ヶ所を角スペーサ、ワッシャ、ナットでしっかり固定してある	
5	配管確認	PF管3本を所定の位置にサドルでしっかり固定してある	
6	メンテナンス部の引込み口確認	開口部3ヶ所をパテで隙間なく充填してある	
7	メンテナンス部の内部確認	メンテナンス部に、腐食、汚れ、水の侵入はない	
8	ケーブル確認	工事説明書記載のケーブルを使用している	
9	端子台、コネクタの配線接続確認	電線が誤配線なく接続されている。（下図参照） 端子台接続端子のネジにゆるみはない 各ケーブルの被覆が端子台に噛み込んでいない コネクタ（3ヶ所）がしっかりと接続されている	



4. 蓄電ユニットの絶縁抵抗測定

測定方法： 蓄電システムが停止の状態で絶縁抵抗計のレンジをDC500Vに設定し、各端子とE端子間を測定。						
判定条件： 各端子の絶縁抵抗が1MΩ以上であること。						
系統_U ーE間	系統_N(0) ーE間	系統_W ーE間	停電時出力_L ーE間	停電時出力_N ーE間	PV自立入力_L ーE間	PV自立入力_N ーE間
＿＿＿	＿＿＿	＿＿＿	＿＿＿	＿＿＿	＿＿＿	＿＿＿
MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ	MΩ

５．蓄電システムの運転確認

試運転モードで、下記の内容を確認した

①設定値の確認（確認した各種設定を記入）

設定項目	初期値	設定値
アンペアブレーカ値	制限なし	＿＿＿＿＿＿
押上げ設定	未選択	＿＿＿＿＿＿
太陽光発電の有無	有	＿＿＿＿＿＿

②整定値の確認（確認した整定値を記入）

	整定項目		表示	整定範囲	整定範囲	初期値	整定値
1	交流過電圧検出レベル		OVR	110V/115V/120V	0.5s/1.0s/2.0s	115v/1.0s	(v)／ (s)
2	交流不足電圧検出レベル		UVR	80V/85V/90V	0.5s/1.0s/2.0s	80v/1.0s	(v)／ (s)
3	周波数上昇検出レベル	50Hz	OFR	50.5Hz/51.0Hz/51.5Hz	0.5s/1.0s/2.0s	51.0Hz/1.0s	(Hz)／ (s)
		60Hz		60.6Hz/61.2Hz/61.8Hz	0.5s/1.0s/2.0s	61.2Hz/1.0s	(Hz)／ (s)
4	周波数低下検出レベル	50Hz	UFR	47.5Hz/48.0Hz/48.5Hz/49.0Hz/49.5Hz	0.5s/1.0s/2.0s	48.5Hz/1.0s	(Hz)／ (s)
		60Hz		57.0Hz/57.6Hz/58.2Hz/58.8Hz/59.4Hz	0.5s/1.0s/2.0s	58.2Hz/1.0s	(Hz)／ (s)
5	受動的方式		PAS	±10°／±15°／±20°	―	±10	°
6	復帰時限		HLd	10(秒)／60(秒)／150(秒)／300(秒)	―	300(秒)	(秒)

③端子電圧の確認（蓄電ユニットの端子台の電圧を測定）

測定方法：	蓄電システムを運転状態にして、端子台の各端子をテスターで測定
判定条件：	系統_U－系統_W … 202V±20V　系統_N(0)－E間 … 1V以下　その他 … 101V±6V

系統_U －系統_N(0)間	系統_W －系統_N(0)間	系統U －系統_W間	停電時出力_L －停電時出力_N間	系統_N(0) －E間
＿＿＿＿V	＿＿＿＿V	＿＿＿＿V	＿＿＿＿V	＿＿＿＿V

④各動作の確認（室内リモコンで確認）

運転モード	チェック
充電	
放電	
停電時切替、放電動作	
点検コードは発報していない（発報時は対処する）	

６．蓄電システムの設置日登録の確認 （「登録情報」画面で確認）

蓄電システム　設置日	年　　月　　日

７．お客様への説明（既入居の場合のみ）

	ご説明事項	チェック
1	各運転モード、非常運転モードの説明を行った	
2	運転モード、非常運転モードの設定方法を説明した	
3	充電開始、放電開始時間の設定方法を説明した	
4	停電時の家電製品利用時の注意事項を説明した（医療機器や瞬停の影響を受ける機器はつながない）	